

科目名	核化学特論			分野・必選別・単位数	専門科目	選択	2単位
担当教員	◎教授 富沢比呂之 講師 横塚記代			配当コース	診療放射線コース	科目ナンバー	T3C111
課程	博士前期	配当年次	1年	配当学期	後期	授業方法	講義
授業の概要	核化学に関する成書(The Transuranium Element、Nuclear Chemistryなど)を用いて、輪講形式で実施する。						
授業の到達目標	①核化学に関する基本的知識を修得する。 ②超ウラン元素について、その生成、分離、性質を説明できる。 ③核化学および放射化学に関する英語表現を述べることができる。						
授業計画	回数	担当者		行動目標			
	1	富沢比呂之	教授	科目概説および成書選定			
	2	富沢比呂之	教授	成書を用いた輪講・成書の内容を説明できる。			
	3	富沢比呂之	教授	成書を用いた輪講・成書の内容を説明できる。			
	4	富沢比呂之	教授	成書を用いた輪講・成書の内容を説明できる。			
	5	富沢比呂之	教授	成書を用いた輪講・成書の内容を説明できる。			
	6	富沢比呂之	教授	成書を用いた輪講・成書の内容を説明できる。			
	7	富沢比呂之	教授	担当部分のまとめの発表・成書の内容についてまとめて説明できる。			
	8	横塚 記代	講師	成書を用いた輪講・成書の内容を説明できる。			
	9	横塚 記代	講師	成書を用いた輪講・成書の内容を説明できる。			
	10	横塚 記代	講師	成書を用いた輪講・成書の内容を説明できる。			
	11	横塚 記代	講師	成書を用いた輪講・成書の内容を説明できる。			
	12	横塚 記代	講師	成書を用いた輪講・成書の内容を説明できる。			
	13	横塚 記代	講師	成書を用いた輪講・成書の内容を説明できる。			
	14	富沢比呂之	教授	担当部分のまとめの発表・成書の内容についてまとめて説明できる。			
15	富沢比呂之	教授	総括				
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	指定したテキストの次回授業部分を事前に読んでおくこと。次回の授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておくこと。					
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、成書や文献等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	該当期間に30時間以上の予復習が必要。					
教科書	講義の第1回目で用いる成書を決定する。						
参考書	講義において適宜紹介する。						
成績評価の方法および基準	各講義における発表30%、レポート70%						
その他履修上の注意事項	試験やレポート等に対し、講義の中で解説等のフィードバックを行う。まとめごとに発表を行うので準備すること。カリキュラムマップのDP1が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。						